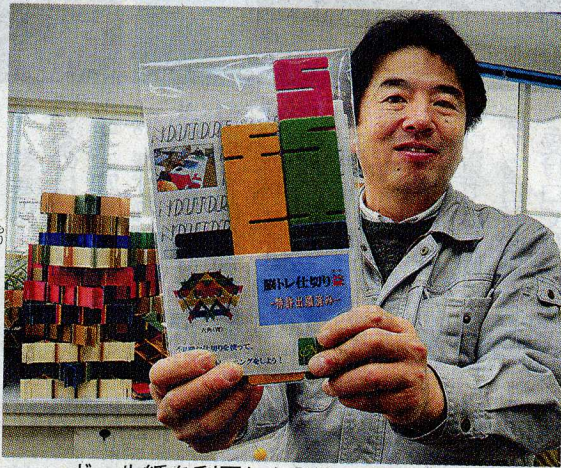


(第3種郵便物認可)

授産所支援に 脳トレおもちゃ

豊橋の白井さん
ボール紙で作
り販売



ボール紙を利用した脳トレおもちゃを完成させた白井社長＝豊橋市問屋町で

ボール紙を利用した「脳トレ仕切り益」の製造を思いついた。約一年がかりで試作を重ね、今月に入って完成させた。パズルのように部品ケースを組み立てるおもちゃで、お年寄り向けの認知症予防にも役に立つと考えている。

不況で苦境に立つ障害者施設を支援しようと、豊橋市問屋町の梱包用品製造会社福益工業所が、ボール紙をパズルのように組み立てるおもちゃ「脳トレ仕切り益」を作り、同市老津町の障害者通所授産所ワークショップ杜

で販売を始めた。同社は主に自動車の部品を入れるボール紙製のケースを製造。しかし昨秋から続く不況で企業からの注文が六割減った。知的障害者ら三十人が通う同授産所ではそのケースを包装する作業をしていたが、同社の注文減少とともに経営は危機的状況に。

この事態を乗り切ってもらおうと、同社社長白井伸幸さん(四七)は、注文減で余ったボ

ール紙を利用した「脳トレ仕切り益」の製造を思いついた。約一年がかりで試作を重ね、今月に入って完成させた。パズルのように部品ケースを組み立てるおもちゃで、お年寄り向けの認知症予防にも役に立つと考えている。

白井さんは「授産所で働く障害者を何とか支援したかった。老人施設などで仕切り益を活用してもらえれば」と意気込んでいる。価格は四百二十円と四百五十円の二種類。問い合わせはワークショップ杜へ。電0532(23)4020へ。(池内琢)